

委員会レポート

経済建設委員会

愛西市立田地域交流拠点施設の
指定管理者の指定について

Q 道の駅周辺の整備については、
駐車場のほかにもどのような事業を考
えているか。

A 道の駅東側のハス保存田を公園
化してPRしていきたい。あくまで
構想段階だが、駐車場とハス保存
田、公園を一体的に考えていきた
い。

Q 指定管理者選定委員は、客観的
に指摘できる委員を選ぶべきではな
いか。

A 選定委員は要綱により、当該施
設に深く関係のある者となってい
る。委員の選定については、必要に
応じ検討していく。



委員会視察研修報告

総務委員会

(10月16日～17日)

「茨城県潮来市の液状化対策」

「千葉県市川市の防災公園整備事業」

潮来市においては、東日本大震災により液状化が発生し、特に干拓した地域の被害が甚大でした。液状化発生の可能性が高い愛西市として、液状化対策は重点施策であり、地盤を固くする工法や地下水を低くする工法について学びました。

市川市においては、一時避難場所の機能を有する都市公園の整備を通じて、地域の防災機能の強化や、快適都市空間の形成を図る取り組みを行っています。あくまでも一時避難場所としての利用目的で整備しており、愛西市においても県と一体の防災公園整備の必要性をこれまで以上に感じました。



文教福祉委員会

(10月30日～31日)

「広島県安芸高田市の市民総ヘルパー推進事業」

「広島市の平和記念資料館など」

安芸高田市の市民総ヘルパー構想は、高齢者が安心して地域で生活ができるよう、介護知識のある市民の養成を図っています。市民の家族介護の社会的意義を高めるとともに、市民の連帯による共助を再構築し、市民と行政の協働のまちづくりをおこなっています。少子高齢化がますます深刻な問題になっている現在、こういった助け合いの取り組みは大変参考になりました。

広島市では、原爆ドーム・広島平和記念公園・広島平和記念資料館に行きました。改めて原爆の被害の大きさ、悲惨さが伝わってきました。核兵器がなくなり、世界の恒久平和を強く願う視察となりました。

